

# 地域猫制度を実施します



野良猫が増えると

飼い主のいない猫、いわゆる野良猫は、生ごみの散乱や糞尿害など、地域に被害をもたらすことがあります。

野良猫は野犬と違い、法律的根拠がなく、保健所が捕獲や駆除をすることはできません。しかし、放置される一方です。

このことは、生ごみの散乱や糞尿害などの被害の増加につながります。また、野良猫の厳しい生活環境を見れば、動物愛護の観点からも野良猫が増えることは好ましいとは言えないでしょう。

地域猫制度で問題解決を

このような状況の中での問題の解決策として考えられたものが「地域猫制度」です。この制度は、

▼野良猫を捕獲して不妊・去勢手術を行い、繁殖を抑えます。

▼そのかわり、その地域の猫はその地域で管理している猫と位置付けて、ボランティアの手により餌やりと餌場の清掃を行います。地域猫制度を導入した地域では

入以来新たな出産がなくなったため、寿命を終えた猫の数だけ徐々に減っています。

# 新庁舎建設工事を行っています

## 市内心身障害学級の学級公開を行います

今年度も、市内心身障害学級の学級公開を行います。障害者のひきこもり校はご遠慮ください。



と列を作っていました。気球は気象条件に左右されやすく、当日の天候次第では中止も考えられました。担当者の熱意が伝わり、予定通りフライバルが行われ、環境に関係する市民団体等の趣向をこらした出店が会場を賑わせていました。

なかでも「熱気球フライト体験」は、早朝にもかかわらず、たくさんの方が今からお見えいました。「環境」について考めたきつかけの場として、今後もフェスティバルが続いていることを切に願っています。



他にも、「電気自動車試乗会」や「マスクのつかみ取り」といった体験型のイベントが多くの来場者を楽しませていました。「環境」について考えたきつかけの場として、今後もフェスティバルが続いていることを切に願っています。

正直心配だったけど、挑戦したかいがあった。来年もぜひ挑戦して、多くの方に体験してもらいたい。」と話していました。

正直心配だったけど、挑戦

たかいがあった。来年もぜひ

挑戦して、多くの方に体験し

てもらいたい。」と話していました。

正直心配だったけど、挑戦

たかいがあった。来年もぜひ

挑戦して、多くの方に体験し

てもらいたい。」と話ていました。

正直心配だったけど、挑戦

たかいがあった。来年もぜひ